

夢ある農業応援団!



株主の皆さまへ

» 第94期 «

中間(第2四半期)報告書

2017年1月1日 ▶ 2017年6月30日



Contents

ごあいさつ	1
連結決算のポイント	2
事業ハイライト	3
四半期連結財務諸表	5
会社の概要	6

井関農機株式会社

ごあいさつ



代表取締役社長執行役員

木下 榮一郎

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第94期中間期（第2四半期）の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

当社グループは、「お客様に喜ばれる商品の提供」を通して、わが国並びに世界の農業に貢献することを経営の基本理念として活動を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年9月

1

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復に持ち直しの動きが見られ、企業収益や雇用情勢は改善基調で推移しました。また、欧米経済において堅調に回復基調が継続していること、中国経済については公共投資の下支えによる持ち直しの動きなどから総じて緩やかな改善が続いています。

一方、国内農業環境につきましては、農業の構造的な変化が進む中、農機市場は回復に向けて底を打ちつつあります。

このような状況の中、当社グループは、国内においては新商品の投入や顧客対応の充実を図るなど、引き続き販売量の拡大に努めてまいりました。また、海外においては主力地域である北米、欧州、中国、ASEANでの販売強化に努めた結果、当社グループの連結経営成績は以下のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8億7千2百万円減少の801億7千5百万円（1.1%減少）となりました。国内売上高は、農機製品全体では前年並みとなりましたが、トラクタが好調に推移し、作業機・補修用部品・修理収入や施設工事の増加などにより、前年同期比14億5千5百万円増加の627億6千3百万円（2.4%増加）となりました。海外売上高は、取引条件変更による影響があった北米の減少及びASEAN向けの出荷時期ずれによる減少などが響き、前年同期比23億2千8百万円減少の174億1千1百万円（11.8%減少）となりました。

営業利益は、国内直系販売会社の収支構造改善効果やインドネシア事業の収益改善に加え、継続した経費の圧縮により、前年同期比10億8千9百万円増加の28億4千万円（62.2%増加）となりました。

経常利益は、中国持分法適用会社にかかる持分法投資損益や為替差損益の好転などにより前年同期比21億1千1百万円増加の33億7千5百万円（167.0%増加）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上していた投資有価証券売却益や災害損失がなくなったことなどから、前年同期比16億4千2百万円増加の21億9千5百万円（296.8%増加）となりました。

連結決算のポイント 第94期中間期(第2四半期)

売上高	80,175 百万円	
前年同期比	872百万円(1.1%)減	
▶うち国内	62,763 百万円	
前年同期比	1,455百万円(2.4%)増	
▶うち海外	17,411 百万円	
前年同期比	2,328百万円(11.8%)減	
営業利益	2,840 百万円	
前年同期比	1,089百万円(62.2%)増	
経常利益	3,375 百万円	
前年同期比	2,111百万円(167.0%)増	
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,195 百万円	
前年同期比	1,642百万円(296.8%)増	

売上高
国内：農機製品全体では前年並みとなりましたが、作業機・補修用部品・修理収入や施設工事の増加などにより増収。
海外：北米における取引条件変更の影響やASEAN向けの出荷時期ずれなどにより減収。
営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益
営業利益：国内直系販売会社の収支構造改善効果やインドネシア事業の収益改善に加え、継続した経費の圧縮により増益。
経常利益：中国持分法適用会社にかかる持分法投資損益や為替差損益の好転などにより増益。
親会社株主に帰属：前年同期にあった投資有価証券売却益や災害損失がなくなったことなどにより増益。

国内売上高の内訳(億円)					海外売上高の内訳(億円)						
	第94期中間期 (第2四半期)	第93期中間期 (第2四半期)	増減		第94期中間期 (第2四半期)	第93期中間期 (第2四半期)	増減				
整地機	170	159	+11	北米	35	64	△29	製品計	152	181	△29
栽培機	56	63	△7	欧州	56	62	△6	補修用部品	12	10	+2
収穫調製機	55	60	△5	中国	26	22	+4	その他	10	6	+4
農機製品計	281	282	△1	ASEAN	18	21	△3	その他	17	12	+5
作業機	113	106	+7	その他	17	12	+5	計	174	197	△23
補修用部品	68	66	+2	製品計	152	181	△29	計	174	197	△23
修理収入	25	24	+1	補修用部品	12	10	+2				
施設工事	33	28	+5	その他	10	6	+4				
その他農業関連	108	107	+1	計	174	197	△23				
合計	628	613	+15	合計	174	197	△23				

事業ハイライト

1. 直進アシスト田植機デビュー

精密な操作を必要とする田植機の作業では長時間運転に起因する疲労軽減が課題でした。また、新規就農者の増加に伴い機械の操作に不慣れな作業者の運転技術の習熟に要する時間コストが負担になっています。そこで、当社は、GPS機能を活用した直進アシストシステム「オペレスタ」を搭載した8条植田植機を開発し、今年4月より全国各地で実証実験を行いました。モニターの皆様からは高い評価をいただいております。「簡単・真っ直ぐ！」機能をさらに充実させ来年春に本格デビューいたします。



2. 「野菜作機械に関する展示ルーム」オープン

今年4月、つくばみらい事業所に野菜作機械を紹介する展示ルームをオープンしました。フロアには近年注目されているたまねぎ大規模一貫体系や葉物野菜機械が並べられ、パネル・ビデオを織り交ぜてわかりやすく紹介しております。



3. 特許査定率・分野別登録数 第1位

特許庁より「特許行政年次報告書2017年版」が公開され、当社は2016年の特許査定率「全産業中」第1位、また農業機械を含む「その他の特殊機械分野」における特許登録数も第1位となりました。特許査定率の高さと分野別登録数の多さは、当社の高い技術力を証明しており、優れた商品を開発している証となります。

4. 中国：東風井関 襄陽新工場2月稼働

東風井関農業機械有限公司は今年2月に襄陽新工場を稼働いたしました。新たな生産拠点では、田植機をはじめ、高馬力トラクタや、ASEAN向けの汎用コンバインなどを生産し、順次生産品目を増やしてまいります。当社グループは、新工場を“生産基地”として活用し、中国国内のみならず、ASEANのお客様に喜ばれる製品を、より多く届けてまいります。



5. ASEAN：タイを中核に販売拡大



三菱商事との合併会社であるイセキセールスタイランド社のタイにおけるトラクタ販売は順調に拡大しております。昨年は地元農機ディーラーを買収し販売網を拡充しました。また今年2月には部品・作業機を供給する中セキタイランド社（井関農機100%子会社）が営業を開始し、サポート体制を強化しました。今後はタイを拠点にASEAN

周辺諸国へトラクタをはじめ汎用コンバインなど販売展開していきます。

6. 「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体・えひめ大会」オフィシャルスポンサー



当社は今年秋の「えひめ国体・えひめ大会」のオフィシャルスポンサーとして開催を応援しています。メイン会場「みきゃん広場」には井関農機PRブースを出店しています。

許可番号 29えひめ国体・大会承認第2-191号

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第94期第2四半期末 (2017年6月30日)
資産の部	
流動資産	101,290
現金及び預金	6,558
受取手形及び売掛金	36,612
商品及び製品	45,673
仕掛品	7,241
原材料及び貯蔵品	1,040
その他	4,199
貸倒引当金	△ 35
固定資産	109,612
有形固定資産	95,579
無形固定資産	1,040
投資その他の資産	12,992
資産合計	210,903
負債の部	
流動負債	97,194
支払手形及び買掛金	32,141
電子記録債務	13,468
短期借入金	30,103
1年内返済予定の長期借入金	8,570
その他	12,910
固定負債	44,577
長期借入金	26,090
その他	18,487
負債合計	141,772
純資産の部	
株主資本	51,709
資本金	23,344
資本剰余金	13,453
利益剰余金	15,891
自己株式	△ 979
その他の包括利益累計額	15,702
その他有価証券評価差額金	1,380
繰延ヘッジ損益	4
土地再評価差額金	12,686
為替換算調整勘定	791
退職給付に係る調整累計額	839
新株予約権	80
非支配株主持分	1,638
純資産合計	69,131
負債純資産合計	210,903

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	第94期第2四半期 (2017年1月 1日 ～2017年6月30日)
売上高	80,175
売上原価	56,421
売上総利益	23,754
販売費及び一般管理費	20,913
営業利益	2,840
営業外収益	1,105
営業外費用	570
経常利益	3,375
特別利益	45
特別損失	100
税金等調整前四半期純利益	3,320
法人税等	1,111
四半期純利益	2,208
非支配株主に帰属する四半期純利益	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,195

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第94期第2四半期 (2017年1月 1日 ～2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,507
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,499
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 7,832
現金及び現金同等物の期首残高	13,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,076

会社の概要 (2017年6月30日現在)

■会社概要

社名	井関農機株式会社
本社	愛媛県松山市馬木町700番地
本社事務所	東京都荒川区西日暮里5丁目3番14号
創立	大正15年8月
資本金	233億4,474万円
従業員数(連結)	5,854名
事業内容	当社はつぎの製品の製造および販売を主要な事業内容としております。

整地用機械	トラクタ、耕うん機、乗用管理機、芝刈機
栽培用機械	田植機、野菜移植機
収穫用機械	コンバイン、バインダ、ハーベスタ
調製用機械	籾すり機、乾燥機、精米機、計量選別機、野菜収穫調製機
その他	作業機、補修用部品、農業用施設

■役員

	氏名	役付
取締役	南 健 治	代表取締役 会長執行役員
	木下 榮 一郎	代表取締役 社長執行役員
	富安 司 郎	取締役 副社長執行役員
	菊池 昭 夫	取締役 専務執行役員
	豊田 佳 之	取締役 専務執行役員
	兵頭 修	取締役 専務執行役員
	新 真 司	取締役 常務執行役員
	金山 隆 文	取締役 常務執行役員
	神野 修 一	取締役 執行役員
	岩崎 淳	取締役
監査役	田中 省 二	取締役
	木元 誠 剛	常勤監査役
	岡 厚 志	常勤監査役
	川野 芳 樹	常勤監査役
	町田 正 人	常勤監査役
	平 真 美	監査役

■主要な事業所

①当社

名 称	所 在 地
本社	愛媛県松山市
本社事務所	東京都荒川区
砥部事業所	愛媛県伊予郡
熊本事業所	熊本県上益城郡
新潟事業所	新潟県三条市
つくばみらい事業所	茨城県つくばみらい市
茨城センター	茨城県稲敷郡
関西事業所 (インプル)	滋賀県近江八幡市

②子会社

名 称	所 在 地
株式会社キセキ北海道	北海道岩見沢市
株式会社キセキ東北	宮城県岩沼市
株式会社キセキ関東	茨城県稲敷郡
群馬キセキ販売株式会社	群馬県前橋市
株式会社キセキ信越	新潟県新潟市
株式会社キセキ北陸	石川県金沢市
株式会社キセキ東海	愛知県安城市
三重キセキ販売株式会社	三重県津市
株式会社キセキ関西	兵庫県加古川市
株式会社キセキ中国	広島県東広島市
株式会社キセキ四国	愛媛県伊予市
株式会社キセキ九州	熊本県上益城郡
株式会社ISEKIアグリ	東京都荒川区
ISEKI France S.A.S.	フランスピュイドーム県オービエール市
ISEKI (THAILAND) CO.,LTD.	タイ チョンブリ県
株式会社井関松山製造所	愛媛県松山市
株式会社井関熊本製造所	熊本県上益城郡
株式会社井関新潟製造所	新潟県三条市
株式会社井関邦栄製造所	愛媛県松山市
PT. ISEKI INDONESIA	インドネシア 東ジャワ州 ルンバン市
株式会社井関松山ファクトリー	愛媛県松山市
株式会社井関重信製作所	愛媛県東温市
北日本床土株式会社	北海道上川郡
株式会社井関物流	愛媛県松山市
株式会社ISEKIトータルライフサービス	東京都荒川区

株式の状況 (2017年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 696,037,000株
(注) 株式併合に伴い、7月1日より69,000,000株となっております。
- 発行済株式総数 225,918,764株
(自己株式3,931,172株を除く)
(注) 株式併合に伴い、7月1日より22,591,876株となっております。
- 単元株式数 1,000株
(注) 単元株式数変更に伴い、7月1日より100株となっております。
- 株主数 23,202名
- 大株主 (上位10名)

大株主の氏名	所有株数 (千株)
株式会社みずほ銀行	10,708
農林中央金庫	8,687
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	8,065
三井住友信託銀行株式会社	8,000
イセキ株式保有会	5,810
株式会社伊予銀行	5,800
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,700
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,345
井関営業・販社グループ社員持株会	4,183
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	3,944



UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



井関グループは、

環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。

「賢い選択」の提案として「エコ商品」など環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年12月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



当社ホームページアドレス
<http://www.iseki.co.jp/>